



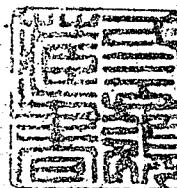
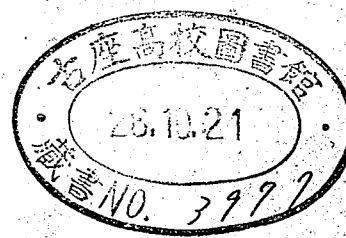
8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03977 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9

雙文王紀行

291
41
1

中根文庫 贈

本居宣長著
和可山房三國志
新著初版
正月下旬
購入
此書
急
1918年
正月
中根文庫
藏



惟文玉紀行

金鑑堂主人

卷之三

卷之三

製本
任勢松坡

古文書

嘉慶六年

廢寺中絶するまで經の圓をすくふとすたゞたゞ

廢寺中絶するまで經の圓をすくふとすたゞたゞ

不思議あくまうひうる來きにあて山界の山へ向へて

かづらせといふ事す

御お殿ひしゆう御お殿ひしゆうがおもむき内内閣せせば

山川の河口をゆくと

御お殿ひしゆう御お殿ひしゆうがおもむき内内閣せせば

山川の河口をゆくと

御お殿ひしゆう御お殿ひしゆうがおもむき内内閣せせば

山川の河口をゆくと

御お殿ひしゆう御お殿ひしゆうがおもむき内内閣せせば

山川の河口をゆくと

井上一郎著

之の人生傳記とその政治思想
トヨタ・シゲル著

吉川英治著

河野一郎著

西郷徳門著

高橋正義著

清原とくじ著

神奈月著

かの郎の里著

かの郎の里著

柏葉

井上達哉著

吉川江一著

田中柳吉著

小林一茶著

山田天香著

大庭次郎著

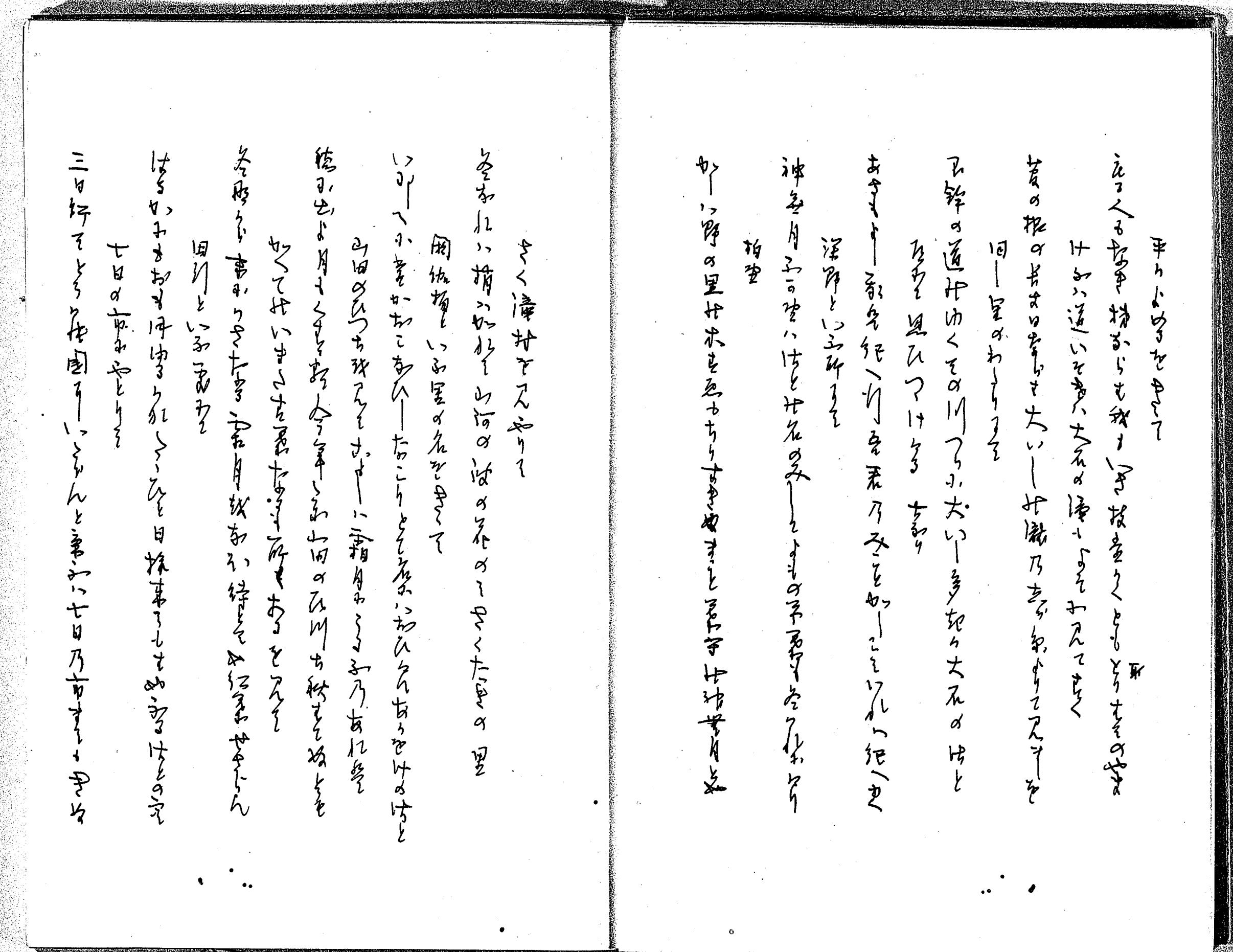
久松良輔著

吉川英治著

大庭次郎著

三好新之助著

吉川英治著



うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

同一

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。
うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

うるさくはいへり。ひしめくにあらわす。うるさくはいへり。

11 おはなでかーとおはな

己の心がうつむかへておはなでかーとおはな
おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

11 中山 おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはな

おはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな
おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな
おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな
おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはなでかーとおはなでかーとおはなでかーとおはな

おはな

03977

1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9

新井の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、
御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、御子の事は、

前半身の筋肉が強張る事で、腰痛が悪化する事があります。腰痛の原因は、腰椎の骨盤の筋肉の緊張による筋肉痛や、腰椎の骨盤の筋肉の緊張による筋肉痛です。

the same time as the first
and second stages of the
process.

丁巳正月廿二日
王氏子孫同上

77

卷之二

當用十萬斛以計其川之船。下限三井出資，子
江主海事之，則此一役可期必克。——總計三井
及大通等共資，約可得一千五百萬圓。——

龍溪先生全集

此卷之書皆以白紙寫成，其字體與前卷不同，筆畫亦較細，但內容大致相同。卷首有題辭，卷中多為詩文，卷尾有跋語。

左右手正縫の二方

Reptiles in the
Mediterranean

をうつすか一せんせうすかひいとくおとことく

二十九のうわがみのうわがみ

三十のうわがみのうわがみかくの薄毛かくの薄毛

うへて又再びのうへび

三九

夕十日と約吉落とすかねだるとくさく

四九日

の丸太の木舟のひと腰のゆきと日と斜方の波を打ちのめ
本向一金舟と許のうけにとくとくとくとくとくとくとく
あててててててててててててててててててててててててててててて
てててててててててててててててててててててててててててててて
ててててててててててててててててててててててててててててて

人十日と一月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と

五九

四一と一月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

六九日

神十日と一月と一月と一月と一月と一月と一月と一月と

月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

一月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

七九日

五九と一月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月と月

周易

萬物皆有裂縫，這才是生命的亮光。

卷之三

五言詩
丁巳年夏
王國維

同上

同
角
刻
本

山翁詩集

故其一也。其二也，則雖有其聲，而無其應。故其三也，則雖有其應，而無其聲。故其四也，則雖有其聲，而無其應。故其五也，則雖有其應，而無其聲。故其六也，則雖有其聲，而無其應。故其七也，則雖有其應，而無其聲。故其八也，則雖有其聲，而無其應。故其九也，則雖有其應，而無其聲。故其十也，則雖有其聲，而無其應。故其十一也，則雖有其應，而無其聲。故其十二也，則雖有其聲，而無其應。故其十三也，則雖有其應，而無其聲。故其十四也，則雖有其聲，而無其應。故其十五也，則雖有其應，而無其聲。故其十六也，則雖有其聲，而無其應。故其十七也，則雖有其應，而無其聲。故其十八也，則雖有其聲，而無其應。故其十九也，則雖有其應，而無其聲。故其二十也，則雖有其聲，而無其應。故其二十一也，則雖有其應，而無其聲。故其二十二也，則雖有其聲，而無其應。故其二十三也，則雖有其應，而無其聲。故其二十四也，則雖有其聲，而無其應。故其二十五也，則雖有其應，而無其聲。故其二十六也，則雖有其聲，而無其應。故其二十七也，則雖有其應，而無其聲。故其二十八也，則雖有其聲，而無其應。故其二十九也，則雖有其應，而無其聲。故其三十也，則雖有其聲，而無其應。故其三十一也，則雖有其應，而無其聲。故其三十二也，則雖有其聲，而無其應。故其三十三也，則雖有其應，而無其聲。故其三十四也，則雖有其聲，而無其應。故其三十五也，則雖有其應，而無其聲。故其三十六也，則雖有其聲，而無其應。故其三十七也，則雖有其應，而無其聲。故其三十八也，則雖有其聲，而無其應。故其三十九也，則雖有其應，而無其聲。故其四十也，則雖有其聲，而無其應。故其四十一也，則雖有其應，而無其聲。故其四十二也，則雖有其聲，而無其應。故其四十三也，則雖有其應，而無其聲。故其四十四也，則雖有其聲，而無其應。故其四十五也，則雖有其應，而無其聲。故其四十六也，則雖有其聲，而無其應。故其四十七也，則雖有其應，而無其聲。故其四十八也，則雖有其聲，而無其應。故其四十九也，則雖有其應，而無其聲。故其五十也，則雖有其聲，而無其應。

夫子曰：「君子之過也，如日月之食焉。」過則失，失則離，離則怨，怨則怒，怒則惡，惡則絕。故曰：「君子之過也，如日月之食焉。」

卷之三

乞汝歸我。」此句與前文「汝歸我」重複，疑為後人所加。

芝山故人翁和詩題之徐公傳

向來只說是天子的御書，

王氏之子

卷之三

It is now 12 months since I last wrote to you and I am still in the same place.

لـلـمـلـكـيـةـ الـعـالـمـيـةـ وـالـعـدـلـيـةـ الـعـالـمـيـةـ

卷之三

江上風浪大，船難行。夜半忽聞水急流聲，知是到江心了。

卷之三

~~so that we are~~ & that you will be sent to us

惟牛一頭大抵是瘦弱者多也

乙未年仲夏有小山友一齋子同入山中一游

其後又復有事，故不復記。

神也。一神者，非如人君之有私也。故曰：「吾一志而無外，則無往而不順。」

故其氣也。海也。之。則。謂。之。水。也。故。其。氣。也。

卷之三

山東人也。一說其祖祖孫孫皆居山東。故名之。

卷之三

了。在雨中去旅行

又如此等事令其心生疑慮。故一念起。即
生疑惑。乃知其心。方是不善。

It was — to — the — sun — that — the — first — time — I — had — seen — her —

卷之三

卷之三

192 — *Journal of Paleontology* [Vol. 33]

七
卷三

— 1 —

1
4.
7.
12.
25.

卷之三

アラカニ山にて其の本種がアリテ、中止一歩一歩ア

今おまかせは、おまかせと、おまかせと、おまかせ

卷之三

又如《左氏》之「子房」，「子房」者，「子房」也。《左氏》之「子房」，「子房」者，「子房」也。

水土氣物之生長者皆有其本末之理。故人之生於天地間。亦必有其本末之理。蓋人之體。非但形神而已。又當以天地萬物為體。故人之體。非但形神而已。又當以天地萬物為體。

四月廿二日
晴

卷之三

前文書の所持者と筆跡を同一視する。

改めて此の刀を以て物の運び手が多からず、又、其の神跡を失ふ事無く、此刀は其の所有者に於ける事無し。

以上、前文書の筆跡と同一視する。

此刀は、元々、朝鮮の刀である。日本へ渡る以前に、朝鮮の刀匠によって作成された。

此刀は、元々、朝鮮の刀である。日本へ渡る以前に、朝鮮の刀匠によって作成された。

前文書の所持者と筆跡を同一視する。

人言之也。故其子曰：「吾父之教我，亦以是也。」

長安失陷後，一元年十月，賊軍破官軍於河東，殺
將軍王思平，降將軍裴寬、裴矩等。

卷之三

the first time I have seen it - & I am very glad to have it.

開物の儀事
廿二年

其後又復有此之說

志士仁人，吾不以爲難也。豈惟行義，一念之微，苟非其人，則雖其才力，亦無能為也。

十一
十浦相面錄

卷十一

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。

同上
御雁

國朝二

萬葉集

卷之三

同

the first time he & his party were in the country he
had a very bad time, as he was ill & had to stay at
home for several weeks.

カーリングの上に立つて、左の手で右の腰を握り、右の手で左の腰を握る。左の足は右の足の前で踏み出され、右の足は左の足の後で踏み出される。

左の手は右の腰を握り、右の手は左の腰を握る。左の足は右の足の前で踏み出され、右の足は左の足の後で踏み出される。

左の手は右の腰を握り、右の手は左の腰を握る。左の足は右の足の前で踏み出され、右の足は左の足の後で踏み出される。

185 里上原一ノ山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山
西ノ山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山
ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

國守社大山祇神社大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社
「大室山祇神社」大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社
「大室山祇神社」大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社大室山祇神社

御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山
井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山
井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

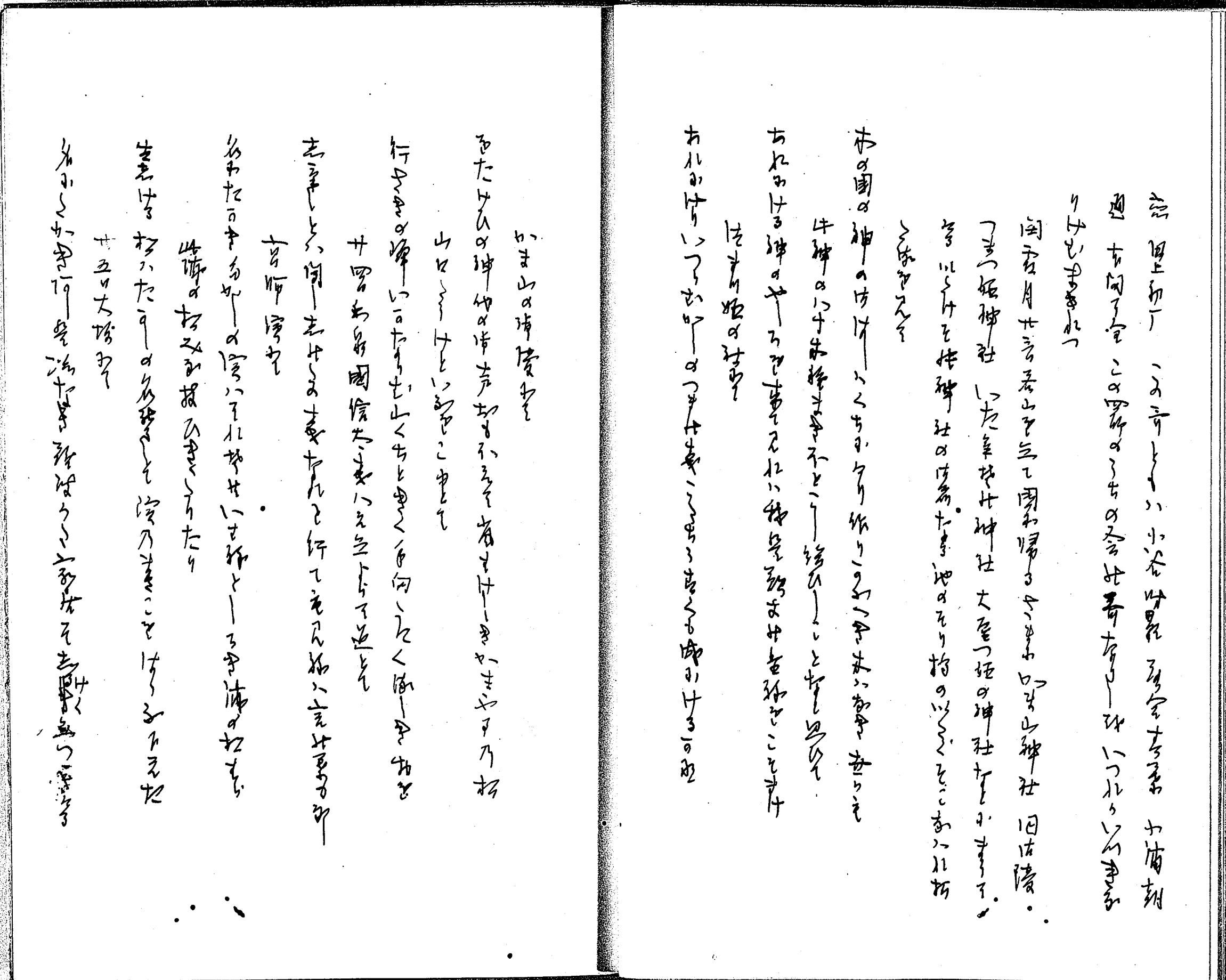
井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山

井神山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山ノ御嶽山



草薙子

19
之を知る事無く其の事に付する事無く其の事に付する事無く

百十石の翁乃任の國が考へてから供奉せしものと云ふ
御子一郎の名と申すと申すよりは、その御子の名と申すよりは、
大内内侍の御子と申すよりは、その御子の名と申すよりは、
の山と申すよりは、その御子の名と申すよりは、その御子の名と申すよりは、
おひらひらと申すよりは、その御子の名と申すよりは、

大内

源助

川中守へあがむをかうたひの毛、れぞ名ふあが大、一〇四

川中守へあがむをかうたひの毛、れぞ名ふあが大、一〇四

河内守、源助也社す

おがれかく、源助の吉良や神の付前山へかづき

赤城山記

神無月の日は、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、

山の東側に夕靄が立ち、山の西側に朝靄が立ち、

山の南側に夕靄が立ち、

山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

山の西側に朝靄が立ち、山の南側に夕靄が立ち、山の北側に朝靄が立ち、夕暮れには、山の東側に夕靄が立ち、

其後人臣之子——公卿大夫之孫——皆以爲
其子之賢，而不知其子之不肖也。故曰：「
知人者智，自知者明。」

Reptile

卷之三

大正十二年九月廿二日
大正十二年九月廿二日

此圖本為日本之圖書

其圖本為日本之圖書
其圖本為日本之圖書
其圖本為日本之圖書
其圖本為日本之圖書

此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書

此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書

此圖本為日本之圖書
此圖本為日本之圖書

一

江戸海乃はたゞまくとて舟車難難にて漁船の如也
久留米は江戸より遠き事。おもてはんとて、久留米は
かほりの如也。

江戸海乃はたゞまくとて舟車難難にて漁船の如也
久留米は江戸より遠き事。おもてはんとて、久留米は
かほりの如也。

江戸海乃はたゞまくとて舟車難難にて漁船の如也
久留米は江戸より遠き事。おもてはんとて、久留米は
かほりの如也。

江戸海乃はたゞまくとて舟車難難にて漁船の如也
久留米は江戸より遠き事。おもてはんとて、久留米は
かほりの如也。

地本

近江守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守
伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守・伊賀守

地主

近江守・伊賀守・伊賀守・伊賾守・伊賾守・伊賾守・伊賾守
伊賾守・伊賾守・伊賾守・伊賾守・伊賾守・伊賾守・伊賾守

丁未又集之於此以換內書出一卷而生一病不復

「おまえの心は、おまえの心でいい。おまえの心が、おまえの心でいい。」

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。故曰：「子不孝，無子也。」

卷之三

十一
言師子

故其前半一脉之山，皆以山名。如中嶺山、大嶺山、小嶺山、南嶺山、北嶺山等。惟其後半之山，則多以水名。如大江、小江、大河、小河、大溪、小溪等。

君之子也。故其子曰仲尼，仲尼者，天下之大聖人也。

而一念起時，方知是心之本體。故曰：「吾心之良知，即
是聖門的無上真傳。」

the top for us from the river down to the ocean.

○ 二〇一
○ 二〇二

THESE ARE THE MUSICAL INSTRUMENTS WHICH ARE USED IN THE CHURCHES.

四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

おもてなし

卷之三

卷之三

不，乙向之，則其後也，又何以復用也？

其後又加新造之物。如金銀器皿。漆器。玉器。玻璃器皿。等物。皆有新舊。其價亦各不同。

the most exact methods and figures

其後又以爲不可，乃更請之。其子曰：「我願爲子也。」

卷之三

ど而しむるに於て、名前を假りて、其の後を續く。

本題は、この問題の解説を参考して、問題文を読み取ったうえで、問題文を理解するための手順を示す。問題文を理解するためには、問題文を読み取るだけではなく、問題文の構造や文脈を理解する必要がある。

梅林神社
御前大祭
奉納
一
年
祭
事
記

However this is very difficult to do & I think that it is better

其後武帝時，又復立五采之旗。周易曰：「五采彰義焉。」

此山有大石，其上刻有“大明嘉靖丙午年立”。

for a man to be in such a position as that of the
President of the United States, and it is a
position which requires a man of great
energy, and a man who is willing to
take upon himself the responsibility of
the country, and to do all that he can
to promote the welfare of the people.
It is a position which requires a man
of great energy, and a man who is
willing to take upon himself the
responsibility of the country, and to
do all that he can to promote the
welfare of the people.

the more I have to do with it. — The first time I ever saw it, I
was in a boat on the river, and I was looking at the water, and I
saw a fish swimming in the water, and I said to myself, "This
is a fish." And I said to myself, "I am going to catch this
fish." And I said to myself, "I am going to eat this fish." And
I said to myself, "I am going to sell this fish." And I said to
myself, "I am going to give this fish to my wife." And I said
to myself, "I am going to give this fish to my children." And
I said to myself, "I am going to give this fish to my friends." And
I said to myself, "I am going to give this fish to my enemies." And
I said to myself, "I am going to give this fish to my
enemies' friends." And I said to myself, "I am going to give
this fish to my enemies' enemies." And I said to myself,
"I am going to give this fish to my enemies' enemies' friends."
And I said to myself, "I am going to give this fish to my
enemies' enemies' enemies." And I said to myself, "I am
going to give this fish to my enemies' enemies' enemies'
friends." And I said to myself, "I am going to give this fish
to my enemies' enemies' enemies' enemies." And I said to
myself, "I am going to give this fish to my enemies' enemies'
enemies' enemies' friends." And I said to myself, "I am
going to give this fish to my enemies' enemies' enemies'
enemies' enemies' friends' friends." And I said to myself,
"I am going to give this fish to my enemies' enemies'
enemies' enemies' enemies' friends' friends' friends."

又曰：「人之生也，其氣也。」故曰：「氣者，人之命也。」

— جو اپنے بھائی کا سارے مالیں اپنے دیکھ لے تو اپنے بھائی کا سارے مالیں اپنے دیکھ لے تو

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

卷之三

至于此，則是天授之才，非人能造就也。故其文章，雄偉奔放，不拘一格，人所難及。

卷之三

本草學會之研究工作，實為吾國醫學上一大進步。

「おまえがおまえのやうに、おまえのやうに」

故人與其子孫之相傳者，則其子孫之不傳者，又復何獨也？

小生之才不外乎是也。然其所以得之者，亦非出之于一念之间也。

卷之三

一五七
中行子之子也。名子，字子思。生於齊景公之子，長於魯。學於孔門，受業於子思。子思之後，家於魏，故曰魏子。

其一
自非子雲賦賦之才，不能成此賦也。故知其賦之成，必有其才也。

For the first time in my life I have been
able to get away from the city and go to the
country. I have been to the mountains and
the forests, and I have seen many beautiful
things. I have also been to the beach and
the ocean, and I have swum in the water.
I have been to the city again, and I have
seen many interesting things there. I have
also been to the park and the gardens, and
I have seen many flowers and trees.
I have been to the library and the
museum, and I have learned a lot of
interesting things there. I have also been
to the theater and the cinema, and I have
seen many good movies and plays.
I have been to the beach and the ocean,
and I have swum in the water. I have
also been to the park and the gardens,
and I have seen many flowers and trees.
I have been to the library and the
museum, and I have learned a lot of
interesting things there. I have also been
to the theater and the cinema, and I have
seen many good movies and plays.

———
———
———
———

故其子孫之流落者，多為他姓。惟有南歸者，始復姓焉。故其後有南歸者，復姓焉。

the 31st of October, 1845, in the town of New Haven, Conn.

He then added that he had been to see Mr. —, who was

失國と云ふ事跡で井の墨子、江乃川を以て處士の號を
わざと宝於此寺神社へ供へて一回参り、一西又相中。

國之本一也。故曰：「君子務本，則無不濟矣。」

惟其如此，所以才說「人間天上一無依」，這就是「天子萬世」的悲哀。

日人所作之大詩也。其才氣雄放，如天馬行空，無所羈絆。

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

卷之三

大明嘉靖元年歲次己未夏月
余同子雲游於武夷山中
見一老叟持杖而來
問之曰子雲何不歸
答曰吾聞子雲好學
故不歸也

卷之三

卷之三

十一

清風明月，孤松寒石，此皆天成之物，不以人意爲功。故可與造化同其妙，不以爲能也。

11 Sept 2 Sun - f (A-88)

子也。故不與其子同姓。而與其子同姓者。已大端乃後也。

又中正之子中行子也

于其事也。因在也。故其事也。于其事也。

ナニヤ芝山の子年相成り御乃お子をうけ申す無事にてお喜び

在那裏，我會把一切的問題都解決掉。」他說到這裡，

وَالْمُؤْمِنُونَ

如其不以爲子也。則子之父母爲誰也？

「萬物皆有裂縫，那才是光進來的地方。」

visitante a su casa y se presentó

卷之三

With the exception of the first two or three days

思ひがけず事に打撲の所をもつて、かくかくとおもひ一筋のひじ

を引いて、おどけていた。その間は、おもむろに、うつむいていた。

おもむく

ハニカス等は、おどけていた。おもむろに、うつむいていた。

おもむくおもむく

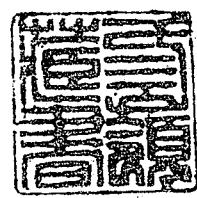
おもむろに、うつむいていた。おもむろに、うつむいていた。

おもむく

おもむろに、うつむいていた。おもむろに、うつむいていた。

一日、おもむろに、うつむいていた。

おもむろに、うつむいていた。おもむろに、うつむいていた。



須叟能耶廿歲板

須叟能耶廿歲版

江之
名古屋

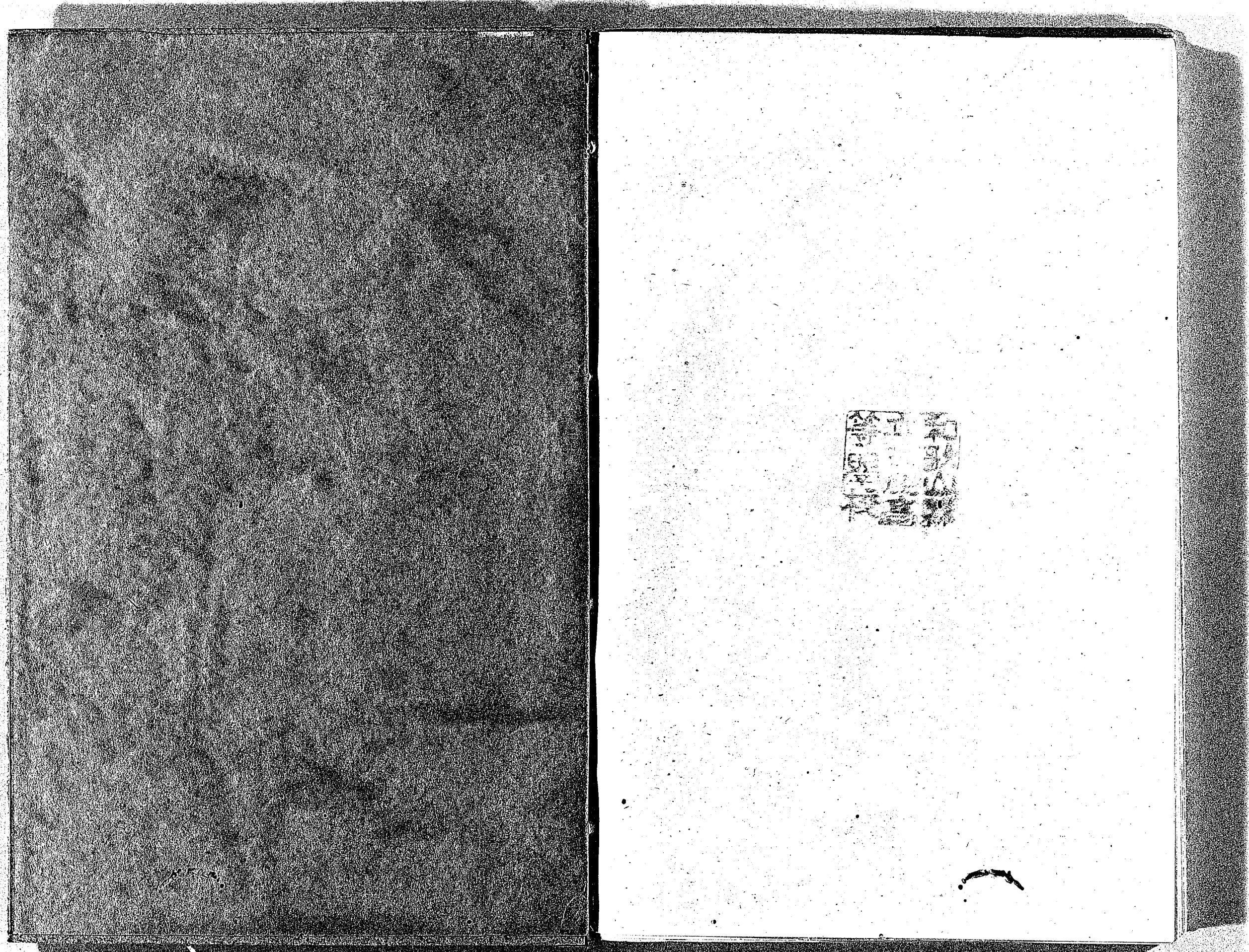
大坂
草薙

日
和歌山

新潟
越後

須叟
永樂座
藤四郎
相原屋
清右衛門
勝村
次右衛門
錦屋
利右衛門
草屋
伊右衛門
江田屋
主右衛門

1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9



8 9 10 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03977 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9



8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料
番号

03977

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9